



12月定例会より

継続審査となつて
いた陳情書1件
と、今定例会に提
出された陳情書3
件を審査した結
果、2件を採択、
2件を継続審査と
しました。

林道柳野山下線の一部町
道認定に関する陳情書

要旨 広域農道の開通に
より往來が増加しているの
で、この道路の一部130
メートルを町道として認
定・整備してほしい。

陳情者 川口公民館長
四位實正

【採択】

理由 広域農道の一部開
通により利用者が増大し

議事事務局職員異動

(新) 本村 毅さん

(社会教育課より)

(旧) 片野好文さん

(企画開発課へ)

ているとともに、工事用車
両等の往來で路面の傷みが
見られるため。

BSE(狂牛病)についての
安全、損害補償など万全
な対策実現を求める陳情

工事箇所・町有林を調査

13年度工事箇所

委員会連合調査

平成14年3月12日
に平成13年度工事箇
所(下手線改良工事、
北谷川墓地敷地造成
工事、東湯田原1号
線改良舗装工事、岩
川線舗装工事、神子
分団車庫新築工事、
川口線舗装工事、建
場山線改良舗装工
事、県単農業農村整
備事業、地方特定道
路整備事業上下大迫線、
ダムふれあいパーク災害復旧
工事の11件)について委員会
連合調査を開催し、説明
員として総務課長、企画開
発課長、経済課長、建設
課長の出席を求めて行いま
した。



調査中の町有林委員会(町道下手線改良工事)

要旨 BSE発生の原因と
感染ルートを徹底究明し、
安全な牛肉の安定供給、B
SEの予防措置など万全な
安全対策を行うことなどか
ら、政府へ意見書を提出し
てほしい。

陳情者 農民運動鹿児島県
連合会会長 關山一則

【採択】

理由 BSE被害によって経
営の危機に立たされている
畜産農家、加工流通業者、
飲食店経営者など一刻も

委員会調査報告

道管布設工事と同時施工の
ため工期延長があり、各課
間の事前協議が必要である。
更に、全般的にまた工期内
で完了していないが、工期内
完成に無理な箇所もあり、
工程指導が必要であるなど
の要請がされました。

町有林の調査

経済建設常任委員会

平成14年2月26日、説明
員として林務係長等の出席
を求め町有林の調査を実施
しました。

調査は、北陸2号線二工
区から未開設路線(約2キ
ロ)を過ぎて、二工区から
七尾林道を通り平江キャン
プ場間の直営林、公団・官
行造林と橋の民有地イチイ
ガシを調査しました。

早く安心して経営が続けら
れる環境づくり、安全で美
味しい国産牛肉、牛肉加工
用品を提供することが急務
であるため。(発議第1号で
意見書を内閣総理大臣等
に提出)

調査の結果、開設された
土捨て場の活用、完成後の
管理、法面の吹き付けで草
の根付きが悪い、側溝が埋
まっている箇所等がある。ま
た、工事のため既設の林道
の傷みが目立つ、林道の崩
壊等の対策について意見が出
されました。

これに対して、土捨て場
は、作業用土場としての目
的であり、植樹はできない
が景観を目的とした植栽は
可能である。既設の林道は
完成後業者に整地をお願い
することになっている。ま
た、崩壊場所は路肩であり
災害に該当しないので、今
後検討したいとのことであ
りました。さらに、前平林
道の完成に伴い、間伐の計
画は2号線接点の潰地が分
からないので、通過後の16
年度頃計画したいとの説明
がありました。

編集 後記

薫風香り、新緑あざや
かな季節の到来となりま
した。

平成14年度各会計の当
初予算が決まり、各事
業が動き出しました。特
に、市町村合併問題に関
して、今後に対処するた
め特別委員会を設置し、
調査等を行うこととしま
した。また、現在各集落
単位に説明会が開かれて
いますが、町民皆さんも
参加され、今後の「町の
あるべき姿や展望」等を
考えてみてください。

今回の議会だよりは、
3月定例会の状況を中心
に編集しました。ご意見
等ありましたら議事事務
局までお寄せください。

平成14年5月

発行責任者 東 哲雄

編集委員長 中 尾正男

副委員長 西 位芳彦

編集委員 橋之口 淳一

編集委員 下大迫 幸太郎

編集委員 高 嶺 文樹雄

編集委員 水 流 克男